

熊本県人吉市 芳野旅館 子どもたちへ伝えていきたい暮らしの伝承

第65号 2018年5月28日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていくよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

芳野旅館の歴史

熊本県人吉市にある芳野旅館に宿泊する機会がありました。

こちらの旅館は明治42年に創業し、2013年には人吉温泉の歴史を物語る貴重な木造和風旅館として国登録有形文化財に登録されたそうです。

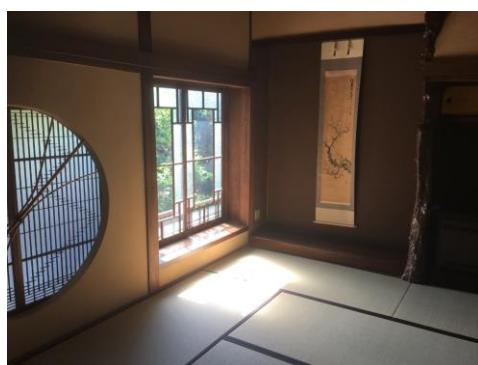
登録有形文化財は、近代の古き良き建造物が開発や生活様式の変化などによって消滅するのを防ぎ、活用しながら後世に残していくために作られた制度で、建築後50年を経過し、国が定める登録基準に該当したものが登録されるようです。

芳野旅館では、本館、別広間棟、居間棟、従業員棟で、住宅から温泉旅館へと変遷した経緯をよく伝えている点、舟や水車の古材、竹や木を用いた数寄屋風の風情ある客室、建物群が中庭を囲むように建ち、温泉旅館の風情を醸し出している点が登録された要因のようです。

明治の文豪、小説家の司馬遼太郎も足しげく通った旅館に宿泊し、芳野旅館の女将に館内を案内して頂きました。

芳野旅館：www.yosino.jp/

明治42年より続く、登録有形文化財にも指定された歴史を残す宿





花嫁のれん

嫁入り道具－花嫁のれん

「嫁入り道具」とは、女性が結婚するに当たり、その後の結婚生活で困らないように女性の親や女性本人が持っていく家財道具のこと。

昔は「女性の結婚＝男性側の家に嫁として入ること」として、結婚を「嫁入り」と呼び、嫁入りする際に持っていく道具を「嫁入り道具」と呼んだようです。

伝統的な嫁入り道具に、桐箪笥・鏡台・婚礼布団・着物があったそうです。そんな中、芳野旅館には花嫁のれんと呼ばれる暖簾が仏間の入り口にかけられ、花嫁はそれをくぐってご先祖様に挨拶をして、初めて嫁入りを認められたそうです。

この花嫁のれんは、江戸時代から加賀藩の能登・加賀・越中に伝わる風習のようで、加賀友禅で染め抜かれた家紋入りの一点もののように、先代の芳野旅館の女将さんは北陸から人吉へ嫁いできたのかもしれません。



煤竹が施された組子建具



飴色の煤竹

組子建具

組子建具に使われていたのは煤竹。(すすだけ)

煤竹とは、古い茅葺屋根の屋根裏や天井からとられる竹建材のことです。100年～200年以上の年月をかけ、囲炉裏の煙でいぶされて自然についた茶褐色や飴色に変色した竹建材で、煙が直接当たった所は色が濃く、縄が巻かれた所は薄く、美しい濃淡が表れるようです。

竹が成長する過程で、小さいうちに竹に細工を入れ節の位置や模様の付き方を考えて育てたそうです。茅葺屋根を解体する時に、持ち手のいいものは杖にしたり、窓の格子戸として活用し、最初に竹に細工を入れた人は、その後の光景を見ることはありませんが後世のために昔の人は手を加えていたと女将は言います



鉱物の色によって作り出されたガラス



中庭から差し込む光

芳野旅館に宿泊して思うこと

芳野旅館の女将のご案内の元、館内を案内して頂きました。

時代をタイムスリップしたかのような感覚に心も体も随分と癒されました。美味しい食事に温泉、どれも心地よいものでした。

その中で、女将に館内を案内して頂きながらたくさんのお話を伺いました。今回、「花嫁のれん」と「煤竹が施された建具」について取りあげさせて頂きましたが、女将からお聞きした話は、私自身はじめて聞くことばかりで、それは、子どもたちへ伝えていきたい生活の智慧でもありました。

生活スタイルが一変してしまいますが、嫁入り道具も煤竹も我が子や次代の子どもたちを想っての親心のように感じ、昔から続く暮らしの伝承に尊さを感じました。

芳野旅館の魅力は他にもたくさんあるのですが、土地度地にある文化や風習、言われなど、自分が知らないだけでたくさんのものが各地域にあるのだろうなと感じます。

そう思うと、芳野旅館のように旅館業を営む傍らで実は、後世に先人の暮らしの知恵を伝えていっているように思うのです。

私たちも、古民家『聴福庵』をそういう場とし、子どもたちへ伝承していきたいものが多くあります。芳野旅館を通じて改めて話を伝えていく大切さも感じましたが、どうしたら本当の意味で伝承となるのかこのことを考える機会ともなりました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

●過去のバックナンバー

第62号

保育園見学

第63号

日本家屋から保育を考える①

第64号

日本家屋から保育を考える②

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。